

公益財団法人 みんなでつくる財団おかやま

2020年度(令和2年度) 事業報告書



2020年度のみんつくは、設立から9期目（公益7期目）となり、「非常時に対応できる体制を整備し、今後5か年計画を策定する」を事業方針にかけ、「非常時に対応できる体制の整備」、「理事会機能の強化と役割の再構築」「助成設計の仕組みづくりと届ける機能の強化」という3本の柱を掲げ、取り組みをすすめました。新型コロナウイルスの影響もあり、計画通りに事業を進められない部分もありましたが、理事および評議員を改選し、新任の理事3名をむかえ、今後の取り組みに向けた体制変更をはかりました。

新型コロナウイルスの影響により、NPO活動や寄付の意識にも大きな変化がありました。団体の活動に関する方法や資金調達の相談も増える一方、寄付したい人からの寄付先や基金の相談も増えました。こうした変化に対応していくため、寄付という行為を、自分の思いを託す行為として「選択できる寄付」を推進するために寄付アクションサイトも構築しました。

役員の交代など組織の変革期において、十分に活動ができなかつたこともあります。2020年度は公益認定から6年がたち、2度目の公益法人立ち入り検査（岡山県）の実施もありましたが、運営面での評価もいただきました。

社会に変化があるときにコミュニティ財団として何をしていくべきかどういう機能を備えておくべきかあらためて考えていき、2020年度に出てきた課題を10年度、20年後に地域のインフラ（仕組み）として機能していくように、2021年度には仕組みづくりをすすめてまいります。

2020年度の主な取組（ニュース）

- 評議員・理事の改選（30代理事3名新任）
- 代表理事の交代（大山代表理事から3代目浅野代表理事へ）
- 寄付アクションサイトの公開
- BRIDGE SETOUCHI 基金の設置（企業と連携した寄付付き商品）
- にこにこえがお基金の設置



■ 運営に関する事項

2020年度は、評議員・理事・監事の改選もあり、特に理事が事業に関わる役割を大きく見直しました。

体制としては、有給理事(事業担当)1名、無給理事（総務担当※事務局長職兼務）1名、事務スタッフ3名（常勤1名、パート2名※11月からは常勤なしパート3名）に加えて、長期インターン生、継続ボランティアのスタッフにより、組織運営を行いました。

また、セミナー運営やイベント運営は、他の助成団体やNPOと連携して実施を行いました。

○評議員会 (総評議員数5名)

開催日	出席	決議事項
R2.6.22 (中国学園大学)	評議員3名 理 事 1名	・2019年度事業・決算報告 ・定款変更(役員報酬規程)について ・理事・監事・評議員の選任について

○理事会 (総理事数6名、監事2名。6月22日～総理事数6名、監事3名)

回数	開催日	出席	決議事項
1	R2.6.7 (みんづく事務所) ※オンライン	理事5名 監事1名	・2019年度事業・決算報告 ・理事・監事・評議員候補の選任について ・定款変更について ・2020年度定期評議員会の開催
2	R2.6.27 (FUNLIFECenterBuilding) ※一部オンライン	理事6名 監事1名	・代表理事の選出について ・2020年度事務分掌について ・ももたろう基金について ・顧問の選任について
3	R2.9.13 ※オンライン	理事6名 監事3名	・2020年度冠基金・社会変革基金助成について ・2021年度事業執行方針(継続審議)
4	R2.12.6 ※オンライン	理事5名 監事2名	・2020年度冠基金・社会変革基金助成について ・ろうきん寄付システムの助成について ・冠基金の受付について(にこにこえがお基金) ・2021年度事業執行方針(継続審議)
5	R3.2.28 ※オンライン	理事5名 監事2名	・2021年度事業計画・執行体制について ・ももたろう基金助成について ・冠基金、奨学金助成について



■ 事業報告

○「割り勘で夢をかなえよう！」事業指定助成プログラム

～ 事業実施者と寄付者をつなぐ ～

2020 年度は、例年通り上半期、下半期と募集を行いました。コロナ対応として常時審査としましたが、クラウドファンディングに関する相談は多くありました。他の民間クラウドファンディングサービスを紹介することで団体のニーズを満たすことが多く、みんなの事業指定助成としての、応募団体はありませんでした。

【次年度への課題】

クラウドファンディングサービスが増えてきたこともあり、今後の事業のあり方について検討するとともに、団体支援の体制強化のため割り勘ワークブック指導者を養成します。

○「みんなの貯金箱をもとう！」

冠基金・社会変革基金事業

～ 寄付者の思いに寄り添った制度設計 ～

2020 年度は、あらたに「にこにこえがお基金」と「BRIDGE SETOUCHI 基金」が新設され、既存の基金とあわせて、冠基金 5 基金 6 テーマ、(※ももたろう基金については別募集)について募集し、うち 4 テーマにおいて 2 団体、4 名の合計 6 事業の助成を行いました。

「みんなの活動」助成団体連絡会との連携などにより効果的に情報を届けることができましたが、障がい(高齢者)をテーマとした「山本基金」には申請がなく、今後の広報及び助成方法の検討が課題となりました。

また、2018 年度に新設した平成 30 年度西日本豪雨災害の支援基金「ももたろう基金」については、今年度で寄付募集は終了し、助成事業も 2021 年度までの実施とし、今年度 5 事業に助成を行いました。そして、コロナ禍において団体支

援の在り方を検討する中で、災害多発時代の現状に対応するため「みんつく災害支援基金」を新規に設置しました。

しかし、2020年度も、「地域助け合い基金」「みんつく子ども基金」の2つの社会変革基金についてはともに大きな寄付の増加がなかったため、助成実施はできませんでした。

その他、事務局をつとめる「ろうきん寄付システム」は5団体への分配を実施しました。

【次年度への課題】

社会変革基金も4テーマ（地域助け合い・みんつく子ども・にいみ復興・みんつく災害支援基金）となり、活用をどうしていくか、寄付募集強化のために担当制の導入など取り組みをしていきます。

また、山本基金は設置以来一度も助成実施がなく、基金設置者の意向もヒアリングを行いながら助成内容の見直しを行います。県内の状況調査などを行い、ニーズをとらえた助成を実施していきます。

【助成実施した基金】

テーマ	設置者	基金名	助成団体名	助成金額
子ども福祉	匿名希望	福祉人財育成基金	認定特定非営利活動法人 ポケットサポート	350,000
被災地支援	萩原工業株式会社	BRIDGE SETOUCHI 基金	ハレハハ	100,000
障がい	匿名希望	福祉人財育成基金 奨学金助成	継続助成 2名	1,900,000
			新規助成 1名	
子ども	(特活) 岡山未成年後見支援センターえがお	にこにこえがお基金	新規助成 1名	900,000

【新設した基金】

テーマ	設置者	基金名
災害支援	社会変革基金（みんつく）	みんつく災害支援基金
被災地支援（防災）	萩原工業株式会社	BRIDGE SETOUCHI 基金
子ども	（特活）岡山未成年後見支援センターえがお	にこにこえがお基金

○災害支援基金 「ももたろう基金」 助成実績

2020年度で寄付募集は終了しました。（今後の災害支援関係は、みんつく災害支援基金を活用するとともに災害規模に応じて新設基金を検討します。）ももたろう基金の助成実施は2021年度まで予定しています。

助成事業一覧（2020年度は第13次募集を実施）

	募集時期	助成プロジェクト数	助成金額（総額）
第1次助成	2018年7月8日～7月17日	2	650,000
第2次助成	7月18日～7月31日	15	4,311,000
第3次助成	8月1日～8月31日	8	7,804,000
第4次助成	8月1日～8月27日	9	10,188,000
第5次助成	9月19日～10月31日	4	690,000
第6次助成	9月19日～10月31日	8	3,324,287
第7次助成	12月10日～3月31日	3	500,000
第8次助成	12月10日～2月7日	7	2,750,000
第9次助成	2019年6月10日～2019年8月30日	4	3,210,000
第10次助成	9月2日～10月31日	7	1,910,000
第11次助成	7月2日～7月25日	5	1,375,680
第12次助成	12月25日～2月21日	5	2,300,000
第13次助成	2020年12月15日～2月22日	5	1,600,000
合計助成金額			40,612,967



【ももたろう基金のスキーム】



事業の様子



第10次助成 いのりんジャパン



第11次助成 川辺復興プロジェクト あるく



第9、12次助成 お互いさまセンターまび



第11、12次助成 がくまび

○「みんなとやればできるはず！」地域円卓会議

2020年度は、地域円卓会議は実施いたしませんでした。
ただ、助成団体との交流や意見交換を行う機会を設けるとともに、民間助成団体で連携しコロナ対応について検討したり、他エリアのコミュニティ財団と支援について検討したりするなど、知恵や知識を交流する機会をもうけました。

○情 報 発 信

2020年度は、新型コロナウイルスの影響あり、多くの行事がオンラインになりました。情報発信もオンラインを中心に実施するとともに、説明会等もオンラインで開催しました。

特に、助成事業の情報発信については、「みんなの活動」助成団体連絡会で連携し、「コロナ対応」の助成などの合同説明会や他団体の事業内での情報発信など自団体のみならず県内の助成団体での発信力を強化していきました。

○ノウハウ移転事業

2020年度は、市民活動に関する包括協定をむすんでいる瀬戸内市の支援を行うとともに、他の公益法人への支援を中心に行いました。DV被害者の自立支援を行うサンフラワー基金の運営支援や全国各地のコミュニティ財団の運営や災害支援基金の助言を行いました。その他、百間川水と緑基金などの審査員を理事がつとめました。

(ノウハウ移転事業一覧)

相手先	内容
瀬戸内市	<p>「協働のまちづくり推進事業」</p> <ul style="list-style-type: none">・市民団体支援、モデル事業支援・補助金運営支援・職員研修
(公財) サンフラワー基金	<ul style="list-style-type: none">・公益法人運営について・助成事業の設計について
全国コミュニティ財団協会	<ul style="list-style-type: none">・コミュニティ財団としての在り方・災害支援基金の取り組みについて・伝統宗教と寄付と地域課題（対談）



○セミナー

+1セミナーは、2020 年度はオンラインを中心に開催しました。みんつくの役員変更があったこともあり、内部研修もかねて法人運営に関するテーマを多く扱いました。

(+1セミナー) 開催:毎月9日頃

月	(+1セミナー) 開催:毎月"9"日頃	開催場所
4月	※新型コロナウイルスの影響により中止	
5月	NPO 向けコロナ対応法律相談	オンライン開催
6月	「みんなの活動」助成団体連絡会 オンライン合同説明会	オンライン開催
7月	みんつくの使い方	オンライン開催
8月	コミュニティ財団の歴史と基金について	オンライン開催
9月	第10回ファンドレイジング大賞受賞記念セッション	認定NPO法人日本ファンドレイジング協会によるオンライン開催
10月	岡山市による資金調達講座	岡山市勤労者福祉センター5階体育集会室又はオンライン参加
11月	共に学ぼう新型コロナウイルスの感染予防～	オンライン開催
12月	公益活動の運営費の確保どうしますか？	オンライン開催
1月	冠基金、ももたろう基金の申請について	オンライン開催
2月	今日から始められる！ファンドレイジングはじめの一歩	天神山文化プラザ
3月	公益法人の年度事務について	オンライン開催



○Share 会議

19日開催のshare会議も2020年度は、オンラインが中心となりました。オンラインのメリットとして、県外の方にも参加してもらいやすくなりましたが、よりみなさんの意見交換を活発に行うためにも今後運営上の工夫も必要であると考えています。

(Share会議) 開催:毎月19日頃

月	内容	発表者	場所
4月	※新型コロナウイルスの影響により中止		
5月	「水島子ども食堂 ミソラ」と一緒に考える会	水島子ども食堂ミソラ 井上正貴さん	オンライン開催
6月	まちの10年後を考える	みんつく(石田)	オンライン開催
7月	海外のフードバンク事情について	「フードシェアリングジャパン」成田さん	オンライン開催
8月	夏休み自由研究用ワークショップ「次の時代のまちづくりリーダーになろう!」	小中学生	くらしき健康福祉プラザ 3F 視聴覚室
9月	「きよてん」づくり 大学生2人の挑戦を応援しよう!	大学生2名	オンライン開催
10月	フードシェアについて考えよう! (ソーシャルライター運動企画)	ミソラ	おかやま信用金庫 妹尾支店
11月	コロナ禍のイベント開催について	みんつくインターナ生	みんつく事務所
12月	街の在り方を考える	参加者各自	町屋トラスト
1月	助成申請相談会	申請各団体	オンライン開催
2月	多頭飼育崩壊ワークショップ	※岡山市ESD事業	オンライン開催
3月	コミュニティ財団について	みんつく(石田)	オンライン開催 IIHOE内研修





7月 各国のフードバンク活動



8月 子どもワークショップ

○調査・研究会等

岡山県から受託した地域力向上支援事業をきっかけにうまれた助成団体連絡会「みんなの活動」助成団体連絡会も今年度はオンラインを中心に開催しました。コロナ禍における公益法人としての運営や助成の在り方など意見交換を行いました。そのほか、全国コミュニティ財団協会の中四国ブロック会議において、コロナ禍におけるコミュニティ財団の取り組みや今後のコミュニティ財団の在り方について意見交換を行いました。

また、就実大学からの長期インターン生を中心にコロナ禍のNPO活動の状況調査などを実施しました。

(研究会等への参加)

【「みん活」助成団体連絡会】

月	研修会・会議名	内容
4月	コアメンバー会議	コロナ禍の活動状況の意見交換
5月	「みん活」助成団体連絡会 第一回	合同説明会の実施について
12月	「みん活」助成団体連絡会 第二回	今年度の助成状況や活動状況の意見交換
2月	「みん活」助成団体連絡会 第三回	みん活の2020年度の振り返りと次年度の確認

【全国コミュニティ財団協会中四国ブロック会議】

月	研修会・会議名	内容
12月	中四国ブロック会議第一回	コロナ禍の活動と最近の取り組みについて
1月	中四国ブロック会議第二回	コミュニティ財団の役割と各団体の将来ビジョン

○そ の 他 (寄付文化創造)

毎月 29 日の「ツクる日」もオンライン開催がメインとなりました。みんなの新しい理事との交流や活動団体との交流をメインに行いました。また、自己資源の活用機会として寄付アクションサイトの構築やお金の使い方シートの公開を行いました。

(毎月 29 日頃開催)

月	内容	開催場所
4月	※新型コロナウイルスの影響により中止	
5月	「お金の4つのつかい方」について	オンライン開催
6月	フードシェアについて(橋本財団交流会)	オンライン開催
7月	オンライン交流会!	オンライン開催
8月	FMくらしき感謝祭 今年は日本酒で乾杯 in 自宅 (FMくらしき主催)	オンライン開催 (FMくらしき主催)
9月	みんな8周年記念!オンライン交流会	オンライン開催
10月	子どもの居場所交流会(インター生企画)	EX-cafe
11月	教育交流会(GIGAスクールの意見交換)	オンライン開催
12月	望年会 みんな2021年どうする! 「コミュ財に望むことを考える」	オンライン開催
1月	空き家問題について考える	オンライン開催
2月	なし	
3月	みんなフォーラム	オンライン開催

事業の様子 (ツくる日)

5月 お金の4つの使い方



寄付アクションシート



9月 8周年交流会

2020年度も

ありがとうございました！

来年度パワーアップします！

